

第8回科学技術交流フォーラム

「大学のソフトウェアを世界へ」

フォーラムの目的

大学の特許技術の社会への移転の仕組みは整備されて機能しているところですが、ソフトウェア、とりわけ最先端の科学技術シミュレーション技術が社会に移転され実用化されデファクト化した例はわが国ではまだありません。わが国の大学には優れたソフトウェアが死蔵されたままになっており、その技術移転スキームの構築が課題となっております。産学官が一同に集まり、近未来の社会・経済にとって「解を出すべき本課題」に対して、専門分野・産業界を横断したチームが形成され、産学連携活動を企画・実行し、その課題解決が図られることを目指します。

2007年3月9日(金)
13:00~17:50

【フォーラム】 東京大学経済学研究科棟 地下1階大教室

【交流会】 学生会分館 8号室 (18:00~20:00)

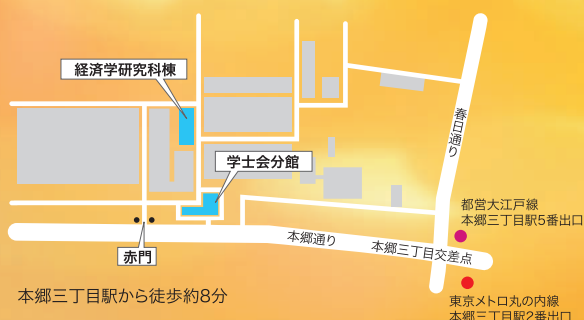
参加定員 150名 / 事前登録制 (先着順)

参加費 フォーラム: 無料 / 交流会: 3,000円

申込締切 3月6日(火)

申し込み 東京大学産学連携協議会運営本部事務局 (産学連携本部内)

問合せ先 <http://www.ducr.u-tokyo.ac.jp/kyogikai/forum/>



第8回科学技術交流フォーラム

「大学のソフトウェアを世界へ」

プログラム

開会挨拶 13:00~13:05 藤田 隆史(東京大学 産学連携本部長)

挨拶 13:05~13:10 小宮山 宏(東京大学 総長)

ご挨拶 13:10~13:30 文部科学省、経済産業省

ご挨拶 13:30~13:40 川上 潤三(株式会社日立製作所 執行役専務 研究開発本部長兼医療事業統括本部長)

講演1 13:40~14:00 大学発ソフトウェア移転の課題
太田 与洋(東京大学産学連携本部 教授・産学連携研究推進部長)

講演2 14:00~14:25 流れのマルチスケールシミュレーション
松本 洋一郎(東京大学 工学系研究科長)

講演3 14:25~14:50 バリューデザインの技術:「見えるツール」から「見る人間」へ
大澤 幸生(東京大学工学系研究科 助教授)

講演4 14:50~15:15 初心者にも使える3次元グラフィクス技術とその応用
五十嵐 健夫(東京大学情報理工学系研究科 助教授)

15:15~15:30 休憩

講演5 15:30~15:55 創発の埋め込みと発現
上田 完次(東京大学 人工物工学研究センター長)

講演6 15:55~16:20 実践的ケモインフォマティクス・ソフトウェアの開発と発信
船津 公人(東京大学工学系研究科 教授)

講演7 16:20~16:45 革新的シミュレーションソフトウェアの研究開発プロジェクト
~実用的先端シミュレーションソフトウェアの研究開発とその普及の取り組み~
加藤 千幸(東京大学生産技術研究所 計算科学技術連携研究センター長)

16:45~17:00 休憩

講演8 17:00~17:25 大学ソフトウェアの産業応用の現状と将来について
高田 章(旭硝子株式会社中央研究所 特任研究員)

調査報告 17:25~17:45 わが国の企業におけるシミュレーション技術の活用実態と人材育成
大谷 泰昭(みずほ情報総研株式会社 科学技術部長)

閉会挨拶 17:45~17:50 本間 高弘(東京大学産学連携本部 特任教授)